

書誌第104号追

# 北海道沿岸水路誌

追補第3

令和3年（2021）8月6日発行



Japan Chart 150th

海上保安庁

# 北海道沿岸水路誌

## 追補第3

この追補は、平成31年3月刊行の北海道沿岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和3年6月30日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和3年8月6日

海上保安庁海洋情報部

## 注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

表紙：「新印章について」

令和3年、日本の海図の歴史が始まり150年の節目の年を迎えました。新たな歴史を刻む第一歩として、今年から新印章を付した水路図誌の刊行を始めました。



**積雪** 降雪期間中の初期と終期における積雪は、1、2日で解けるが、本格的になると積雪が全部解けないうちに更に降雪があつて、長期間にわたって積雪が続くようになる。これを根雪といい、北岸及び西岸では根雪期間が120～150日、南岸東部及び東方の諸島で約100日に及ぶが、南岸西部では40日以下の所がある。

積雪の深さは年によって異なり、最深値は北岸及び西岸で200cm、南岸東部及び東方の諸島では100cm以上、南岸西部でも50cm以上となるが、平年値は最多地域で130cm、最少地域では20cm以下である。

### 気象情報

**全般海上警報** 気象庁は北西太平洋の100°E～180°E、赤道～60°Nの海域を対象として、全般海上実況・予報・警報を公表している。これらの情報はセイフティネットや漁業気象通報によって放送されている。

また、無線ファクシミリ(JMH)で放送しているものもある。

セイフティネットとは、国際海事機関(IMO)が管理する海上安全情報の国際的な放送システムであり、気象庁は世界の海を21に分けたセイフティネット区域のうち北西太平洋区域の警報と概況及び台風予報を1日4回(0530、1130、1730及び2330(日本時間))、インマルサットCシステムの高機能グループ呼出セイフティネット(EGC Safety NET)により、インマルサット太平洋衛星経由で放送している。これらの定時放送のほか、風速48kn以上の台風が存在するかあるいは24時間以内に予想される場合には、定時放送の3時間後に臨時警報を放送する。

**地方海上警報** この水路誌の記載区域及び周辺の海域に係る担当気象台が発表警報は、海上保安庁の海岸局から無線電話、NAVTEX及び漁業無線気象通報により随時及び定時に送信されている。(第8章 海難防止 「海上保安庁の通信業務」 21ページ参照)

**天気図等** 気象庁が作成した天気図類は、気象庁気象無線模写通報(JMH)により放送されている。

呼出符号	電波の型式	周波数(kHz)
JMH	F3C	3622.5
JMH2		7795
JMH4		13988.5

その他、各種気象情報がNHKラジオ第2放送、共同通信社からのファクシミリ放送などによっても提供されている。

**船舶気象通報** 沿岸海域を航行する船舶や操業漁船、また、海洋レジャー(プレジャーボート、海釣り等)の安全を図るため、全国各地の主要な岬の灯台等航路標識132か所において、局地的な風向、風速、波、うねり等の気象・海象の観測を行い、その現況を電話、インターネットにより提供している。

船舶気象通報を行う航路標識の名称、気象観測項目等は書誌第411号「灯台表第1巻」に記載してある。

**気象官署** この水路誌の記載区域に係る気象官署は、次表のとおりである。

管区気象台(電話)	地方気象台(電話)
札幌 (011-611-0170) 札幌市中央区北2条西18-2	函館 (0138-46-2212)
	旭川 (0166-32-6368)
	室蘭 (0143-22-3227)
	釧路 (0154-31-5110)
	網走 (0152-44-4348)
*仙台 (022-297-8104) 仙台市宮城野区五輪1-3-15	稚内 (0162-23-2678)
	*青森 (017-741-7411)

\*印は記載区域外にある気象官署を示す。

各港湾付近及び陸岸寄りの航路標識の灯光は、背後の灯火やいさり火などにより見えにくいことがある。

**浮標式** 日本国内では、IALA（国際航路標識協会）海上浮標式（B方式）を採用している。

**電波による航路標識** この水路誌の記載区域内で利用できる電波による航路標識は次のとおりである。

ロランC局

名 称	主 局	従 局	レート
ロシアチェーン	Aleksandrovsk（ロシア）	Petropavlovsk（ロシア）	7950-W
		Ussuriisk（ロシア）	7950-X
		Okhotsk（ロシア）	7950-Z
韓国チェーン	Pohang（韓国）	Kwangju（韓国）	9930-W
		Ussuriisk（ロシア）	9930-Z

5 （注）ロシアチェーン局は、調整用電波を発射中である。

## 第6章 水 先

### 水 先 区

10 水先区とは、水先法の適用される区域で、名称及び区域は水先法施行令で定められている（水先法第33条、同法施行令第3条）。この水路誌の記載区域内にある水先区の名称及び区域は、次表のとおりである。

水先区名	区 域
函 館	北海道大鼻岬から葛登支岬まで引いた線及び陸岸により囲まれた海面
室 蘭	室蘭港の区域及び室蘭港南外防波堤灯台を中心とする半径3,000mの円内の海面
苫 小 牧	苫小牧港の区域
釧 路	釧路港の区域
留 萌	留萌港の区域
小 樽	小樽港の区域

### 水 先 人 会

15 各水先区における水先人会の概要は、次表のとおりである。

名称及び連絡先	乗 船 地 点	備 考
函館水先区水先人会 TEL 0138-40-8435 FAX 0138-40-8435	函館港西副防波堤灯台から220° 2M付近	
室蘭水先区水先人会 TEL 0143-22-4049 <a href="tel:0143-23-5656">0143-23-5656</a> FAX 0143-23-8085	1. 一般船舶は、室蘭港南外防波堤灯台から250° 1.5M付近 2. 大型タンカー（VLCC）は、室蘭港南外防波堤灯台から230° 2.3M付近	1. パイロットラダーをうねり及び風向の下に用意し、特に冬季においては風下をつくること。 2. タンカーの夜間入出港は、原則として行わない。

(2) 北航する場合

	変 針 点	備 考
1	青森港の鼻線埼から 270° 3.7 M	
2	平館灯台（明神埼上）から 090° 3.5 M	
3	大間埼灯台から 270° 10.1 M	
4	穴澗岬（41° 45′ N 140° 42′ E）から 270° 1.1 M	函館港南航路入口に向かう。

注意

1	津軽海峡内を東航するには、中央部の海潮流本流区域を、西航するには、視界が良ければ沿岸寄りの海潮流反流区域を航行したほうがよい。
2	陸奥湾～函館港の航路など、海潮流本流区域を横断する際には海流の影響を受けることがあるので、当て舵に注意し、圧流に対して針路を適宜修正する必要がある。特に、海峡西口の白神岬～龍飛埼間及び東口の汐首岬～大間埼間では、流れが最も速いので注意を要する。
3	船舶が交差する海域では、他船の動向及び夏季～冬季の操業イカ釣り漁船の動向に注意するとともに、夏季の濃霧及び冬季の吹雪による視界制限時の衝突、乗揚げ、冬季の強風による浸水、転覆には、特に警戒を要する。
白神岬付近	潮流が強いため、0.5M以内に接近しないほうがよい。 西風の強い時には、小範囲であるが高波の起こることがある。
汐首岬付近	本流が突き当たってしばしば激潮を起こし、その範囲は東方約3Mの武井ノ島南方まで広がり、距岸2M以上に及ぶことがある。また、この付近は6月になると本格的な霧の来襲があり、7月には霧日数が15日に達することがある。
龍飛埼付近	急潮と強い渦流があるので、2M以内に接近しないほうがよい。 冬季に季節風が連吹すると三角波が発生し、風速も局地的に増大することがある。
大間埼付近	大間埼から北方へ延びる礁脈上を流れる東流は強く、渦流、急潮、三角波を起こすことがある。 特に、東寄りの風が吹くときに起こることが多い。
尻屋埼付近	海潮流の流向は概して不定で、流れが速いので視界の良いときでもあまり接近しないほうがよい。また、この付近は海難多発海域の一つで、航行船舶も多いので、特に視界制限時には注意が必要である。

目標

地物名	概位	備考
宗谷岬	45° 31' N 141° 56' E	岬頂は高さ約 50mの台地で、岬端に灯台がある。岬の南方約 600mに茶色の風車がある。
野寒布岬	45° 27' N 141° 39' E	高さ 1.5m前後、岬端に稚内灯台、水族館（白色）などがある。
礼文岳	45° 22' N 141° 01' E	高さ 490m、南・北方向から見れば鋭い円すい形で、東・西方向からも遠望顕著
利尻山	45° 11' N 141° 15' E	高さ 1,721m、円すい形の火山で、利尻富士ともいわれる。夏季、北東風時又は、大雨の後には遠距離から全貌が見えるので、船舶が遠く南～西方から宗谷海峡に向かうときの好目標
石崎	45° 09' N 141° 20' E	低い崎で、崎上の灯台は昼夜間とも非常に顕著、レーダの好目標で、利尻水道を通航する船舶の最良の目標
焼尻島	44° 26' N 141° 25' E	高さ 94mの平らな低い島で、南東端に灯台がある。
天売島	44° 26' N 141° 19' E	高さ 185mの平らな低い島で、北及び南西端に灯台がある。
ピッシリ山	44° 21' N 142° 02' E	高さ 1,032m、遠望顕著
苫前崎	44° 19' N 141° 39' E	崎頂は樹木のない小丘で、丘上に灯台がある。この小丘の海方は急峻ながけで、レーダの好目標
雄冬岬	43° 44' N 141° 20' E	がけの岬で、レーダの非常に良い目標である。また、岬の北側にある滝は、西方からよく見える。
雄冬山	43° 44' N 141° 24' E	高さ 1,198m
暑寒別岳	43° 43' N 141° 31' E	高さ 1,491m、増毛山地諸峰中の最高峰
高島岬	43° 14' N 141° 01' E	岬頂の日和山（高さ 44m）上に日和山灯台があつて遠望顕著
出岬	43° 23' N 140° 29' E	積丹半島の北端で、岬上に灯台がある。
積丹岬	43° 22' N 140° 28' E	がけの岬で、岬頂の高さ 120m、岬上に <b>DGPS 局及び</b> 無線塔（パラボラアンテナ）がある。レーダの好目標
神威《カムイ》岬	43° 20' N 140° 21' E	細長く突出したがけの岬で、岬頂には樹木はない。岬上に灯台がある。岬から北西方へ約 600m間に数個の突岩があり、ほぼ中央にある神威岩（高さ 40m）は最も鋭くとがっていて認めやすい。最外方のメノコ岩（高さ 10m）は低くて平らな岩である。レーダの好目標
余別岳	43° 16' N 140° 28' E	高さ 1,298m、積丹半島の最高峰
積丹岳	43° 16' N 140° 29' E	高さ 1,255m
羊蹄山〔蝦夷富士〕	42° 50' N 140° 49' E	高さ 1,898m
弁慶岬	42° 50' N 140° 11' E	寿都湾口西角、黒色の低い岩の岬で、岬端に灯台があつて好目標となる。レーダでも顕著。付近に無線塔がある。
茂津多《モッタ》岬	42° 37' N 139° 49' E	険しいがけ（赤色）の岬、岬上は 200～300mの台地で、その北部に灯台がある。
稲穂岬	42° 15' N 139° 33' E	奥尻島の低い岬で、岬上に灯台がある。灯台の南方約 150mにある円い小丘、同灯台の北方約 200mにゴメ崎（高さ約 22mの大きな岩）がある。
神威山	42° 10' N 139° 27' E	奥尻島にある高さ 584mの鋭頂で非常に顕著、山頂にレーダドーム（薄青色）と 2 無線塔がある。
遊楽部《ユラップ》岳	42° 13' N 140° 01' E	高さ 1,276m、遠望顕著
大島	41° 31' N 139° 21' E	高さ 732mの楕円形の火山島で、通称を松前大島という。島の南西側に松前大島灯台がある（190 ページ参照）。
小島	41° 22' N 139° 48' E	小さな火山島で、通称を松前小島という。島の北東側に灯台がある（190 ページ参照）。
弁天島	41° 25' N 140° 05' E	陸続きの小島で、島上に松前灯台がある。灯台の北方約 450mにある 2 無線塔及び灯台の北北西方約 1.7kmにある煙突は好目標

中央 ふ 頭	北側第1岸壁	41° 47.0' N 140° 43.4' E	171	7.5~8	10,000×1	正面岸壁に 接続
	北側第2岸壁	41° 47.0' N 140° 43.5' E	165	7.5~8	10,000×1	合同庁舎並 びの位置
	北側第3岸壁	41° 47.1' N 140° 43.6' E	90	2.5~5.5	3,000×1	陸側E・M 荷役設備あ り
	正面岸壁	41° 47.0' N 140° 43.3' E	133	6~7	1,000×1	
	南側岸壁	41° 46.9' N 140° 43.4' E	133	7~8	7,000×1	
若松ふ頭岸壁		41° 46.4' N 140° 43.3' E	360	9	90,000GT×1	
豊川ふ頭岸壁		41° 46.2' N 140° 43.2' E	530	4~5	1,000×7	
西 ふ 頭	D区岸壁	41° 46.4' N 140° 42.7' E	140	3	1,000×2	
	E区岸壁	41° 46.5' N 140° 42.7' E	165	9	10,000×1	
	F区岸壁	41° 46.5' N 140° 42.6' E	105	6.5	3,000×1	

**最大入港船舶** 1985年5月28日、タンカー 日石丸 (184,855 t、喫水 7.0m) が函館どつく (株) に入渠した。

**台風・津波対策** 台風・津波等による海難事故を防止するため、渡島及び檜山地区台風・津波等対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している (問合わせ先: 函館海上保安部 TEL 0138-42-5658)。

#### 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
函館海上保安部 (港長)	0138-42-5658	横浜植物防疫所札幌支所 函館出張所	0138-42-6671
函館税関 (本関)	税関相談官 0138-40-4261	札幌出入国在留管理局 函館出張所	0138-41-6922
北海道運輸局函館運輸支局	0138-49-9901	函館市港湾空港部 ふ頭管理事務所	0138-41-3543
小樽検疫所函館出張所	函館空港出張所へ連絡 0138-59-0248		

**引船** 大型船用の引船がある。

**通船** 通船があり、第2区の海岸町船だまりから発着する。

**補給** 給油船による補給ができる。

#### 修理施設

造船所名	電話番号	造船所名	電話番号
函館どつく(株)	0138-22-3111	函東工業(株)	0138-42-1256

#### 廃油処理施設

事業者名	申込先	利用時間	処理する廃油の種類	
			廃重質油	廃軽質油
テクノ	0133-64-5222	0830~1800	ビルジ、水バラスト、タンク洗淨水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク洗淨水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ



## 目標

地物名	概位	備考
無線塔	42° 10.4' N 142° 46.3' E	赤白塗、頂部及び中央部に各2赤灯を点じ、夜間目標になる。昼間は目立たない。
著屋	42° 09.9' N 142° 46.5' E	スポーツセンター
著屋	42° 09.8' N 142° 46.4' E	漁業協同組合、白色

針路法 浦河港南防波堤灯台の北西方1.2M付近から南南西方に約1.5M延びる2定置網を避けるため、沖合2.5M付近から浦河灯台を030°に見て接近し、南防波堤西端部を右に見て向かう。接近後、右回頭して南防波堤沿いに入港する。なお、南防波堤西端から西方約500mに西島防波堤が建設中である。

錨地 港内外とも錨かきが悪く、錨泊する船舶はほとんどいない。

## 港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考	
築地1号岸壁	42° 10.0' N 142° 46.0' E	130	7.5	5,000×1	南側	
築地2号岸壁		129	7.5	5,000×1	北側	
北ふ頭	42° 10.0' N 142° 46.2' E	-5.5m岸壁	180	5.5	2,000×1	西側
		-4.5m岸壁	60	4.5	500×1	東側
第1物揚場	42° 10.0' N 142° 46.3' E	215	3.5	500×1		
中央ふ頭	42° 09.9' N 142° 46.3' E	-4.5m岸壁	160	4.5	700×1	北、西側
		-3.5m岸壁	101	3.5	50×1	南側
第2物揚場	42° 09.8' N 142° 46.4' E	185	4	150×1		
南岸壁	42° 09.7' N 142° 46.2' E	89	5.5	2,000×1		

上表のほか、北ふ頭岸壁の西隣に物揚場（長さ100m、水深2.5m）、第2物揚場南側の港奥に物揚場（長さ合計450m、水深2.5m）、南岸壁の西隣に物揚場（長さ198m、水深2.5m）がある。

10

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、浦河港・様似港・えりも港台風・津波等対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問い合わせ先：浦河海上保安署）。

## 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
浦河海上保安署	0146-22-9118	浦河町産業課	0146-26-9016

15

補給 清水及び氷の補給ができる。給油船による給油ができる。

修理施設 上架能力100tの船架がある。

## 廃油処理施設

事業者名	申込先	利用時間	処理する廃油の種類	
			廃重質油	廃軽質油
(株)テクノ	0133-64-5222	0830~1800	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ

20

## 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
釧路海上保安部（港長）	0154-21-5575	横浜植物防疫所 札幌支所釧路出張所	0154-22-4291
函館税関釧路税関支署	0154-22-3730	札幌出入国在留管理局 釧路港出張所	0154-22-2430
北海道運輸局釧路運輸支局	0154-51-0057	釧路市水産港湾空港部港湾空港課	0154-53-3371
小樽検疫所釧路出張所	0154-23-3340		

引船 引船がある。

通船 通船があり、東区第3区の築港船だまり（港町護岸）から発着する。

5 補給 清水、燃料油及び氷の補給ができる。小型給油船がある。

## 修理施設

造船所名	電話番号	造船所名	電話番号
釧路重工業(株)	0154-41-9171	川崎造船(株)	0154-25-2521

## 廃油処理施設

事業者名	申込先	利用時間	処理する廃油の種類	
			廃重質油	廃軽質油
(株)日本油設エンジニアリング	0154-36-2151	0830-1730	ビルジ、スラッジ、コレクトオイル	ビルジ、スラッジ、コレクトオイル
アシスト	0153-75-0811	0830～1800	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ

## 医療施設

名称	電話番号	名称	電話番号
釧路赤十字病院	0154-22-7171	市立釧路総合病院	0154-41-6121
釧路労災病院	0154-22-7191		

## 10 釧路港～厚岸湾口（海図W26）

概要 釧路港の知人鼻から厚岸湾口の尻羽岬までの約19M間の海岸は、あまり出入りがなく、又飯時（釧路埼灯台の東南東方約10km）付近が最も南へ張り出しており、概ね砂浜か礫浜で、前面には岩石が多い。

海食がけが発達していて直接海に臨む所もある。この沿岸には、一般船舶の利用できる港湾はない。

10m等深線は、概ね距岸0.4M付近にある。

15 釧路出シ（42° 55.9' N 144° 29.8' E）は又飯時から南方へ広く延びる暗礁で、距岸約0.6Mに水深3.2mの浅所があり、その外側は水深10m以上である。釧路出シはこの沿岸で最も南方にある暗礁である。

## 目標

地物名	概位	備考
立岩	42° 56.9' N 144° 35.0' E	高さ21m、レーダの好目標
トド岩	42° 56.9' N 144° 35.8' E	高さ30m、レーダの好目標
蝸燭岩	42° 56.7' N 144° 38.4' E	高さ22m、レーダの好目標
円山	42° 56.8' N 144° 42.8' E	高さ205m、この沿岸で最も高い。頂上に無線塔（銀色）がある。

## 目標

地物名	概位	備考
著屋	43° 01.2' N 144° 50.2' E	北海道大学臨海実験所、クリーム色
無線塔	43° 03.3' N 144° 50.7' E	高さ41m、銀色、パラボラアンテナ

針路法 大黒島南端を西に約0.7M離して340°の針路で厚岸湾に入り、アイカップ埼を正横に見る所から000°に変針して**バラサン埼** (43° 01.9' N 144° 50.1' E)の西方に進み、以後は航路標識に従って掘り下げ水路に入る。

## 港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考	
湖北岸壁	-2.5m岸壁	43° 03.1' N 144° 50.7' E	132	3	—	岸壁の西側からの順
	-3m岸壁	43° 03.0' N 144° 50.8' E	200	4	—	
	-4m岸壁	43° 03.0' N 144° 50.9' E	200	4	—	
	-5m岸壁	43° 03.0' N 144° 51.1' E	306	2~4	—	
若竹岸壁-3m岸壁	43° 02.7' N 144° 50.8' E	276	2.5	—		
第1ふ頭	-4m岸壁	43° 02.7' N 144° 50.7' E	290	2.5~4	—	第1ふ頭北東側
	-6m岸壁	43° 02.7' N 144° 50.6' E	105	6	—	第1ふ頭の先端
	-5m岸壁	43° 02.6' N 144° 50.6' E	240	4.5	—	自動給氷機3基、南西側先端部
第2ふ頭	-6m岸壁	43° 02.5' N 144° 50.4' E	355	6	—	
	-5m岸壁	43° 02.4' N 144° 50.2' E	190	2~4	—	
	-4.5m岸壁	43° 02.4' N 144° 50.4' E	245	2以下	—	

架橋 厚岸湖口をまたぐ厚岸大橋(高さ2.7~9.9m; 43° 02.8' N 144° 51.2' E)がある。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、厚岸港及び霧多布港津波・台風等災害対策連絡会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している(問い合わせ先: 釧路海上保安部 TEL 0154-21-5515)。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。給油船がある。

**廃油処理施設【全削除】**

## 医療施設

名称	電話番号
町立厚岸病院	0153-52-3145

## 厚岸湾口～浜中湾口 (海図W26)

概要 厚岸湾口の末広埼から散布埼までの約7M間の海岸は、高さ100m前後に侵食され、屈曲しただけの海岸が多い。前面の水深は、厚岸湾口付近は浅いが東側は深く、距岸0.5M以遠に險礁はない。

羅 臼《ラウス》港 (44° 01′ N 145° 12′ E) (海図W1402) (JP RAU)



【画像の差し替え】(2020年9月撮影)

5 港種 港則法適用港

**概要** 知床半島東岸で船舶が利用できる唯一の港である。サンマ漁期中は太平洋からオホーツク海に回航する50t以上の漁船も利用することがある。

南、北側の船だまりに分かれており、南側船だまりの南西側を第1澗《マ》内、北東側を第2澗内、北側船だまりを第3澗内と称している。

10 潮汐 この港における平均高高潮は1.0m、平均低低潮は0.3m、平均水面は0.64mである。

目標

地物名	概位	備考
著屋	44° 01.3′ N 145° 11.8′ E	漁業協同組合、屋上に無線塔(高さ約30m)がある。
架橋	44° 01.1′ N 145° 11.6′ E	オジロ橋、橋の両端に水銀灯がある。

**針路法** 港の南、北両側には、定置網があり、定置網を避けるには、距岸1M以上の沖合から、羅臼港第2南防波堤灯台を280°～305°に見て接近し、南島防波堤南西端沖から入港する。

15 港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	備考
-3.5m岸壁	44° 01.1′ N 145° 11.7′ E	105	3.5	第1澗 《マ》内
-4m岸壁	44° 01.2′ N 145° 11.7′ E	60	3	
-3m岸壁	44° 01.2′ N 145° 11.8′ E	108	3以下	
-3m岸壁	44° 01.2′ N 145° 11.9′ E	100	2.5	第2澗内
-4m岸壁	44° 01.3′ N 145° 12.0′ E	延長225	2.5~4	
-4.5m岸壁	44° 01.3′ N 145° 12.0′ E	144	4~7	第3澗内
-4m岸壁	44° 01.4′ N 145° 12.1′ E	317	3.5~4.5	
中央ふ頭	44° 01.2′ N 145° 12.1′ E	100	8.5	

**台風・津波対策** 台風・津波等による海難事故を防止するため、羅臼港異常気象等対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している(問合わせ先:羅臼海上保安署 TEL 0153-87-2274)。

## 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
網走海上保安署	0152-44-9118	小樽検疫所網走出張所	釧路出張所へ連絡 0154-23-3340
函館税関釧路税関支署 網走出張所	0152-43-5811	網走市建設港湾部港湾課	0152-44-6111 (代表)

引船 引船がある。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。給油船がある。川筋物揚場でも清水と氷の補給ができる。

## 5 廃油処理施設

事業者名	申込先	利用時間	処理する廃油の種類	
			廃重質油	廃軽質油
(株) アシスト	0153-75-0811	0800～1800	ビルジ、水バラスト、タンク 洗浄水、コレクトオイル、ス ロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク 洗浄水、コレクトオイル、ス ロップオイル、スラッジ

## 医療施設

名 称	電話番号
JA 北海道厚生連 網走厚生病院	0152-43-3157

海上交通 1～4月の間、網走港周辺を周遊する観光砕氷船（491 t）2隻がある。

## 10 能取岬～ウェンヒラリ岬（海図W1039）

概要 能取岬～ウェンヒラリ岬（44° 21.9' N 143° 21.3' E）の約41M間の海岸は砂浜で、その間に能取湖、サロマ湖、常呂《トコロ》川及び湧別川などがあり、開口している。

能取湖に能取漁港及びサロマ湖口にサロマ湖漁港がある。

10m等深線は、概ね距岸0.5～1Mを走り、距岸1M以遠に10m以下の險礁はない。

15 この沿岸では、紋別港に30,000D/W級の船舶が着岸できる。

## 目標

地物名	概位	備考
附仔《ブシ》山	43° 58.9' N 144° 01.0' E	高さ480m、付近で最も高く、北～北東方からよく見える。
イワケシ山	44° 02.7' N 143° 58.7' E	高さ425m、各方向から見え好目標
幌岩山	44° 05.7' N 143° 50.3' E	高さ376m、山頂が平らで、この付近では顕著
サロマ湖口	44° 10.9' N 143° 47.2' E	5M以内に接近すれば、レーダでよく分かる。
湧別川河口	44° 13.9' N 143° 37.3' E	沖合10Mから河口の導流堤がレーダによく映る。河口に橋（赤色）がある。
中山	44° 07.9' N 143° 35.6' E	高さ360m、顕著な円すい形の山、北方からは背後に山岳と重なって見えにくい。
文《フミ》山	44° 09.6' N 143° 29.1' E	高さ437m、馬のたてがみの形をした黒色の岩がけの尾根がある。山頂は東方から見れば平らであるが、北方から見れば鋭頂で顕著
紋別山	44° 20.6' N 143° 19.1' E	高さ334m、頂が平らで全山に樹木が繁茂して黒く見える。頂上一帯に多数の無線塔があり、付近に展望台がある。中腹のスキー場は顕著
4無線塔	44° 20.6' N 143° 19.2' E	各高さ約332m、パラボラアンテナ、頂部に赤灯を点ずる。昼夜とも紋別港に接近するときの好目標

## 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
稚内海上保安部（港長）	0162-24-8810	小樽検疫所稚内出張所	0162-23-4403
函館税関稚内税関支署	0162-33-1075	札幌出入国在留管理局稚内港出張所	0162-23-3269
北海道運輸局旭川運輸支局稚内庁舎	0162-23-5047	稚内開発建設部稚内港湾事務所	0162-33-2758

引船 引船（3,000PS など）が数隻ある。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

## 5 修理施設

造船所名	電話番号
稚内港湾施設㈱	0162-23-2365

## 廃油処理施設

事業者名	申込先	利用時間	処理する廃油の種類	
			廃重質油	廃軽質油
(株) テクノ	0133-64-5222	0830～1800	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ

## 医療施設

名 称	電話番号
市立稚内病院	0162-23-2771

海上交通 香深港 {礼文島} 及び鷺泊港 {利尻島} との間にカーフェリー便（3,500 t 級）がある。

10

## 野寒布岬～天塩港（海図W1040）

概要 野寒布岬から天塩港にかけての約 37M間の海岸は、野寒布半島の西海岸（岩礁）を除き、砂浜が続き、沿岸部には目標となる地物が少ない。

野寒布岬からユーチ岬（45° 14.2′ N 141° 34.4′ E）にかけての約 13M間に坂ノ下湾及び抜海岬があり、その抜海岬の南側に抜海漁港（45° 18.6′ N 141° 36.9′ E）がある。

ユーチ岬から天塩港（44° 53′ N 141° 44′ E）にかけての約 23M間の海岸は砂浜で、10m等深線は、概ね距岸 1～1.8M付近を岸線に並走している。

航行上の注意 抜海岬の北西方約 1.2Mに水深 10mの暗岩（45° 19.5′ N 141° 35.6′ E）がある。抜海漁港及び天塩港は、大型船が利用できる他、東寄りの強風を避けることができる。

この沿岸の距岸約 1M以内には、定置網があり、抜海岬の北西方 3.5M付近にホタテ貝の養殖施設がある。

霧 夏季の霧は、数時間で消滅することが多い。

25

## 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
小樽海上保安部（港長）	0134-23-0481	横浜植物防疫所札幌支所 小樽出張所	0134-23-4166
函館税関 小樽税関支署石狩出張所	0133-64-6797	札幌出入国在留管理局 小樽分室	0134-33-9238
小樽検疫所留萌・石狩出張所	小樽検疫所（本所）へ連絡 0134-23-4162	石狩湾新港管理組合	0133-64-6661
動物検疫所 北海道・東北支所 小樽港事務所	0134-33-2460		

引船 引船がある。

補給 清水の補給ができる。

## 5 廃油処理施設

事業者名	申込先	利用時間	処理する廃油の種類	
			廃重質油	廃軽質油
(株) テクノ	0133-64-5222	0830～1800	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ
早来工営（株）	0133-64-1311	0830～1730	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ
(株) 道央油設処理 公社	0126-65-2190	0800～1700	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク洗浄水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ

## 医療施設

名 称	電話番号	名 称	電話番号
市立札幌病院	011-726-2211	小樽市立病院	0134-25-1211
済生会小樽病院	0134-25-4321	医療法人ひまわり会札幌病院	0134-62-5851
小樽協会病院	0134-23-6234		

## 小樽港付近（海図W28）

銭函～高島岬の約 8.5M間の海岸について記載する。

- 10 霧 小樽港付近では、4月初旬～8月下旬に海霧が発生し、6、7月に最も多い。通常昼過ぎごろに発生して、日没ごろに消散する。

海・潮流 小樽港付近の海流及び潮流の流速は弱い。

## 目標

地物名	概位	備考
手稲山	43° 04.6' N 141° 11.6' E	高さ 1,023m、山頂付近にテレビ中継所があって、その建物の灯火（水銀灯）及び付近にある 6 基のテレビ中継塔は顕著
丸山	43° 10.8' N 140° 55.4' E	高さ 629m、鋭峰で、どの方向からみても山の形が同じに見える。
高島岬	43° 14.3' N 141° 01.0' E	岬頂の日和《ヒヨリ》山（高さ 44m）上に日和山灯台があって顕著
トド岩	43° 14.5' N 141° 00.6' E	高さ 21mの黒色の小さな岩
赤岩山	43° 14.0' N 140° 58.9' E	高さ 371m、海側に顕著ながけがあり、また、頂上付近に無線塔（赤白塗及び銀色、赤灯を点ずる）があって他の山と識別できる。

の災害防止措置を指導している（問合わせ先：小樽海上保安部 TEL 0134-23-0481）。

#### 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
第一管区海上保安本部	0134-27-0118	動物検疫所 北海道・東北支所 小樽港事務所	0134-33-2460
小樽海上保安部 (小樽港長、石狩湾港長)	0134-23-0481	横浜植物防疫所札幌支所 小樽出張所	0134-23-4166
北海道運輸局 小樽海事連絡事務所	0134-27-7172	札幌出入国在留管理局 小樽分室	0134-33-9238
函館税関小樽税関支署	0134-23-4163	小樽市産業港湾部港湾室	0134-23-1107
小樽検疫所（本所）	検疫衛生課 0134-23-4162		

引船 引船がある。

5 通船 通船があり、第3ふ頭18号岸壁西側の船員船客乗降栈橋から発着する。

補給 清水、燃料油及び氷の補給ができる。高島地区岸壁では氷の補給ができる。小型給油船がある。

#### 廃油処理施設

事業者名	申込先	利用時間	処理する廃油の種類	
			廃重質油	廃軽質油
(株) テクノ	0133-64-5222	0830～1800	ビルジ、水バラスト、タンク洗淨水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク洗淨水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ
早来工営 (株)	0133-64-1311	0830～1730	ビルジ、水バラスト、タンク洗淨水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク洗淨水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ
(株) 道央油設処理 公社	0126-65-2190	0800～1700	ビルジ、水バラスト、タンク洗淨水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ	ビルジ、水バラスト、タンク洗淨水、コレクトオイル、スロップオイル、スラッジ

#### 医療施設

名 称	電話番号	名 称	電話番号
市立札幌病院	011-726-2211	小樽市立病院	0134-25-1211
済生会小樽病院	0134-25-4321	医療法人ひまわり会札幌病院	0134-62-5851
小樽協会病院	0134-23-6234		

10 海上交通 新潟港、舞鶴港との間にそれぞれカーフェリー便がある。

#### 高島岬～積丹岬（海図W28）

概要 高島岬から積丹岬の約26M間は浸食海岸で、その間に塩谷湾、余市湾及び古平湾などの小湾がある。湾入部の前面はやや遠浅であるが、全般的に岸近くまで深水で、距岸約0.5M以遠には水深10m未満の險礁はない。

15